まちニュース

マルト 大熊店がオープン
地区民ら笑顔の買い物

勿来町に本部を持ち、市内外でスーパーを展開中のマルトはこの十月二日、双葉郡大熊町地内に新店舗「マルト大熊店」をオープン、終日、にぎわいをみせている。

相双地区には初めての進出。施設は鉄骨平屋建て、売り場面積は二千七十平方メートル。店内フロアには、生鮮食品類をはじめ、総菜、日用品、衣料品も並んでいるほか、ドラッグストア、百円ショップも設けられた。弁当や食事の注文配達も受け付け中。

地域民待望の施設とあって、オープン初日には朝早くから地域住民が長蛇の列を作り、カゴいっぱいに笑顔で買い物を続けていた。

オープンで客を迎えるマルトの安島浩社長ら

レジには次々に客が訪れていた

店の営業時間は、午前九時から午後九時まで。元日を除き、年中無休。

2つの〝協働の場〟開設し育成を加速
CIFAL

プラットフォーム開設での記念イベント

いわき市と学校法人昌平黌が共同開設した人材育成機関「国連ユニタールCIFALジャパン国際研修センター」は先ごろ、防災とウェルビーイング（幸せで健康的な状態）の研究・研修を進める二つの「協働の場」を開設し、取り組みを加速させた。

名称は、「いわき国際防災戦略プラットフォーム」と「ウェルビーイングとインクルージョン（包摂）プラットフォーム」。

防災関係では、「防災戦略いわきモデル」を作成して世界に発信することを目指す。市、同昌平黌、CIFALジャパン、複合災害などから国民を守る学術団体「日本CBRNE学会」の四者が参画。

ウェルビーイング関係では、多様な人材が尊重されながら共存していく「インクルージョン」も軸に、それらの推進を図る。市、東日本国際大、東京大学、弁護士事務所、CIFALの関係者らが構成員として連携。

開設に合わせ、この日は東日本国際大で記念イベントが開かれた。ジャーナリストの佐藤真莉子さんが「新人記者が見た震災と原発事故」と題して記念講演。その後、パネルディスカッションが行われ、展望について多角的に意見を交わした。

関の湯 人気呼ぶバイキング
プロ招き野球教室も

太平洋を望む絶景が人気の勿来町、勿来温泉関の湯の「バイキング」が好評を博している。満席になる日もあるほどで、スイーツの数々が目玉だ。

レストランをバイキングのみの営業にした「食企画」。九十分間の食べ放題で、ケーキやゼリーなどの甘い味覚が充実。時間は午前十一時から午後二時半、午後五時から同八時半まで。最終受け付けは終了の一時間前。

主に「レディースデー」に合わせて実施している。当日券は女性千八百五十円、男性二千五十円、小学生七百円、幼児無料。ポイントカードが配布され、五回分たまると次回利用が無料。お得な前売り券もある。

同施設では十一月二十一日まで、土日曜限定で恒例企画「かに食べ放題」も実施中。時間は午後六時半～同八時半。飲み放題、入泉券付きで、料金は一人九千三百円、小学生四千五百円。

十一月二十九日午後一時からは、プロ野球・千葉ロッテマリーンズの捕手、佐藤都志也選手を招いた野球教室とトークショーを開く。入場無料。佐藤選手は平出身で、二〇二四年のオールスターゲームでは最優秀選手賞にも輝いた。

料金はいずれも税込み。詳しくは、同施設（電話六五―一一二六）まで。

好評を博しているレディースデーのバイキング